教え方のズレ KPI記録シート

週間記録 ／ 条件が変わっても、学んだ基準を使って判断・作業できるかを確認する

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　変える条件と、判断・作業の基準を決める

教える作業・教わる本人：

変える条件（場所・配置・材料の組み合わせなど）：

判断・作業の基準（自分で判断する範囲・相談が必要な条件を含む）：

確認方法（実作業を見て「何を基準に、そう判断した？」と聞くなど）：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：教えたあと、条件を変えた作業で理解と判断を確認できた回数

結果KPI：条件が変わっても、決めた基準に沿って自分で作業できた件数

日付	条件を変えた作業で 理解・判断を確認した回数	条件が変わっても基準に 沿って自分でできた件数	変えた条件・判断・つまずき
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：条件を変えた作業で、理解と判断の両方を確認した機会を1回とします。
※ 件数：途中で答えや手順を教え直さず、基準に沿って完了できた作業を1件。同じ作業は重複計上しません。
※ 決めた条件での必要な相談は、自分でできた件数に含めます。該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、次に教え方・練習条件を見直すこと

人を責めるためではなく、本人の成長や、教え方・判断基準・練習条件の見直しに使います。